

事業概要説明シート

事務事業番号 10503400003

事務事業名	枚方体育協会体育振興事業補助事業		
事業開始年度	0	担当部署	社会教育部 スポーツ振興課

根拠法令	決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(公益財団法人枚方体育協会に補助金を交付)

目的 (何のために)	公益財団法人枚方体育協会の活動を補助して、市民のスポーツ活動の振興を図ること
---------------	--

対象 (誰・何を対象に)	市民、公益財団法人枚方体育協会
-----------------	-----------------

事業内容	市民スポーツの振興を図るために次の事業に補助を行っている。 1. 市民スポーツ振興事業・・・新春走ろうかい、女性対象ヘルスアップ講座(ウォーキングエクササイズ、ピラティス等)の開催、サポーターズバンク事業(スポーツインストラクター、リーダー養成講座、フォローアップ研修)など。 2. スポーツ教室事業・・・25加盟団体の競技種目の普及のためスポーツ教室・講習会を年4種目実施。平成24年度は、バレーボールチーム審判指導講習会、剣道合同稽古会・審判講習会・指導法講習、少林寺拳法教室、弓道練成教室
------	---

類似事業	なし
------	----

事業の必要性	様々な市民ニーズに対応し、市民のスポーツ活動の振興を図るためには、枚方市のスポーツ振興の中核的な役割を果たす公益財団法人枚方体育協会が行う事業への補助は必要
--------	--

コスト										
	H23年度決算				H24年度決算				H25年度当初予算	
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費		
正職員	0.45人	3,641千円	0.45人	3,600千円	0.45人	3,558千円				
再任用職員	人	0千円	人	0千円	人	0千円				
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円				
人件費計(A)	3,641千円		3,600千円		3,558千円					
直接経費(B)	46,583千円		47,006千円		46,072千円					
総事業費(A+B)	50,224千円		50,606千円		49,630千円					

財源内訳										
	H23年度決算				H24年度決算				H25年度当初予算	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
国庫支出金		千円		千円		千円		千円		
府支出金		千円		千円		千円		千円		
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円		千円		
その他		千円		千円		千円		千円		
一般財源	50,224千円		50,606千円		49,630千円					

平成24年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容		金額
	市民スポーツ振興補助金		33,739千円
	体育協会活動補助金		13,267千円
			千円

事業概要説明シート

事務事業番号

10503400003

事務事業名	枚方体育協会体育振興事業補助事業		
事業開始年度	0	担当部署	社会教育部 スポーツ振興課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
活動実績	① 事業参加人数	人	18,844	20,750	20,750
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/事業参加人数	円	2,665	2,439	2,393
	②				
	③				

成果目標 (目標とする成果)	各事業の参加者が前年度より増加すること。				
-------------------	----------------------	--	--	--	--

比較参考値 (他自治体での事業の例など)	なし				
-------------------------	----	--	--	--	--

特記事項	<p>枚方体育協会は、市民の体力向上とアマチュアスポーツの普及を語り、あわせて各種スポーツ団体の組織の拡充とスポーツ施設の利用環境の整備を推進し、市民スポーツの振興に寄与することを目的に昭和22年に設立され、昭和49年に財団法人の認可を受け、平成22年に全国の体育協会に先がけて公益財団法人の認可を受けた団体である。主な事業としては、スポーツ大会やスポーツ教室を実施し市民の体力向上とアマチュアスポーツの普及を行うと共に、スポーツ施設の管理運営、また、市内スポーツ団体や指導者の育成等を行ってきた。平成16年には子供から高齢者まで自由に様々なスポーツ種目を楽しむことができる総合型地域スポーツクラブ「キングフィッシャーズスポーツクラブ」を設立するなど、枚方市のスポーツ振興の中核的な役割を果たしている。</p> <p>各事業の参加者は、市民スポーツ振興事業・・・春季秋季総合体育大会総合開会式(1,636人)、新春走ろうかい(5,700人)、ひらかたカップドッジボール大会(770人)、サポーターズバンク事業(87名)、女性対象ヘルスアップ講座(11,030人)／スポーツ教室事業・・・バレーボールチーム審判指導講習会(142人)、剣道合同稽古会・審判講習会・指導法講習(1,100人)、少林寺拳法教室(35人)、弓道練成教室(250人)となり、参加者数は1,906人増加した。</p>				
------	---	--	--	--	--

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策(平成24年度)	現状のまま継続	引き続き事業を実施するなかで、市民ニーズや各事業の実施の必要性を勘案して、必要に応じて見直し等を行っていく。
--	---------	--

一次評価結果(平成24年度)	事業効果に検証が必要では	
----------------	--------------	--

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	特記事項にも記載のとおり、参加人口は増加傾向にある。さまざまな市民ニーズに対応し、市民スポーツの振興を図るためには、体育協会が行っている競技スポーツから健康スポーツまでさまざまな事業への補助は必要であり、事業については今後も継続的に取り組んでいく。
----------------------------------	---------	--